

はじめに



神奈川県では今、丹沢大山における森林の荒廃や相模湾のなぎさの後退など自然環境の劣化が急速に進んでいます。また、ヒートアイランド現象による都市部の生活環境の悪化など、新たな課題も顕在化してきています。これらの課題の解決に積極的に取り組み、将来の世代に良好な環境をしっかりと引き継いでいくことは、私たちの世代に課せられた大きな責務です。

そこで県では、昨年10月、「神奈川県環境基本計画」を全面的に改定し、その基本目標である「将来につなぐ、良好な環境の保全と創造」の実現に向けて、さまざまな施策を展開していくこととしました。

この計画では、今日の環境問題が日々の生活や事業活動に起因していることを踏まえて、新たな政策分野として「協働・連携を進める人づくり」を位置付けています。環境教育の推進やパートナーシップの形成などの取り組みを進め、一人ひとりが常に環境を意識した行動を実践するとともに、そうした人々の環境配慮の「輪」を広げていくことで、問題の解決を図ろうとするものです。

そのための仕組みの一つが「マイアジェンダ制度」です。「マイアジェンダ」は、県民や企業などの皆様が環境に配慮した身近な行動を登録し、それを自主的に実践していただくというものです。昨年6月からは、ケニアの環境副大臣ワンガリ・マータイさんの提唱する「もったいない運動」に呼応した「マイアジェンダ登録“もったいないバージョン”」を新たに設けて取り組みを強化しています。現在では、環境配慮の「輪」が大きく広がり、すでに4万件を超える登録を頂いています。

また、平成17年度には、神奈川の貴重な水源環境を保全・再生するための取り組みを示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」と「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を策定しました。さらに、県全体のみどりの量と質の確保に取り組み、生物多様性の保全と充実を図っていくため、新たに「神奈川みどり計画」も策定しています。

今後とも、こうした環境関連の計画や施策の着実な推進を図り、県民の皆様と力を合わせて、将来の世代に自信を持って引き継ぐことのできる環境を築いていきたいと考えています。

この「環境白書」を通して、県民の皆様お一人お一人が、本県の環境の現状と施策について関心と理解を深められ、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した取り組みを実践し、神奈川の環境の保全と創造にお力添えを賜りますようお願いいたします。

平成18年3月

神奈川県知事
松沢成文